



福山市立大成館中学校
大中だより

2022(令和4)年
7月29日
No. 3
校長 光成 秀博

1 学期終業式 校長式辞



今日で1学期は終了となります。学期末には新型コロナウイルスが猛威を振るい、本校でも多くの学級が学級閉鎖を余儀なくされてしまいました。今後についても全く予断を許さない状況です。これから皆さんは1か月の夏休みに入ります。感染のリスクの高い活動や行動についてはあらためて注意しながら生活してください。また、福山市でも一人一台のタブレットが配付され、夏休みに入りタブレットを使って調べたり、考えたりすることも多くあると思います。インターネットを自由に使うことと使用上の自己責任は表裏一体です。それを忘れず有効に活用してください。

しかし、どんなにICT機器による教育が進もうと、一番大切なのは「人間性」であり「心」です。大成館中学校の正門を入ると校舎にかかっている看板に「思いやり」という言葉が記されています。夏休みは市の行事や地域の中で色々な人とのかかわりがあると思います。自分にとって今なすべきことをしっかり考え、自分の行動に対し、自己決定していくようにしましょう。そして「一人ひとりそれぞれ良さがあることや違いがあること」を認識し、今以上に思いやりがあふれ、いじめのない、みんなが過ごしやすい大成館中学校をつくっていきましょう。

さて、私は1学期始業式の中で、校長として皆さんに次のようなことを考えてほしいと言いました。一つ目は、「皆さんに『大成館中学校区のリーダー』としての自覚を持った行動を求めますが、あなたにとってそれはどんな行動ですか」という内容でした。二つ目は「誰からも愛され、頼りにされ、求められる人材、社会に貢献できる人を目指して生きる力をつけてほしい」という内容でした。1学期は計画されていた行事が直前で中止せざるを得ないことが多くありましたが、2学期以降も上記2つのことを意識した皆さんの行動を期待しています。

さて、今日は学ぶ意味、勉強する意味について、皆さんに考えてもらいたいと思います。そのために、人気クイズ番組「東大王」で活躍したクイズプレイヤーの伊沢拓司さんがクイズについて話されている言葉を紹介します。「クイズを通して学んだことは？」という質問に対し、彼は「クイズはクイズでしかありません。自分で楽しいからやっています。ただ、クイズのために努力することで、自分には何が向いていて何が向いていないのか、どのような勉強をすべきなのか、どれくらい努力するとどれくらいの結果が返ってくるかなど、自分のことをよく知ることができました。僕にとってはクイズがいつでも自分に課題を与えてくれるものでライフワークです。」と答えています。皆さんの中には、例えば「将来使うつもりがないのになぜ英語を勉強するの？」と思いながら勉強している人もいると思います。勉強は皆さんがこの変化の激しい世の中をたくましく生き抜くため、自分探しのため、自分を常に向上させていくためのツールだと私も思います。常に「なぜ？」の気持ちを持ち「わかりました」でおわらせず探求していく姿勢を持ってください。

これから夏休みが始まります。自分の時間を大切にして夏休みだからできることにチャレンジしてください。そして何よりも「命を大切にすること」を最優先してください。新型コロナウイルス感染に係る危険、水の事故や交通事故の危険を自らの判断と行動で避けること、加えて熱中症などの予防を確実に実行し、2学期にはさらにたくましく成長した姿を見せてください。

2022年(令和4年)7月29日
福山市立大成館中学校
校長 光成 秀博

中国中学校選手権大会 出場おめでとう!

☆ソフトテニスの部 (8/5~8/7 松江総合運動公園)

個人戦 佐藤響 (3-2)・山根晶 (1-3) ペア

☆陸上競技の部 (8/7~8/9 Yamata ｽｯﾊﾟｰｸ陸上競技場)

1年男子 1500m 森岡大歌 (1-1)

県代表として、活躍を期待しています!

